

2021年度 ゲームの理論 a 演習第2回解答

Takako Fujiwara-Greve

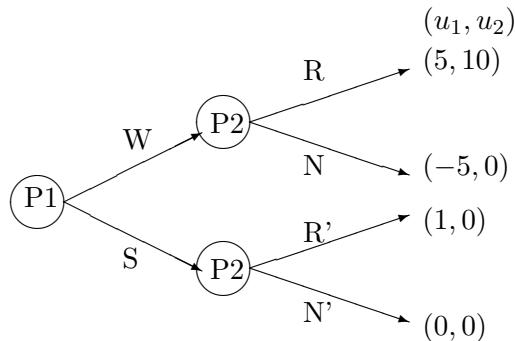
1. まず、純戦略の範囲で (D,d) というナッシュ均衡がある。

次に、混合戦略の範囲でもこれしかないことを証明する。

- P1 が A,B のみを正の確率で行う (B,C のみ、A,C のみ、も同様) :
このとき P2 の最適反応は b または c またはこの 2 つの混合戦略 (P1 が A と B を 1/2 で取る
とき) である。
しかし、P2 が b または c しかないなら P1 の純戦略 A は最適反応にならないので、このよ
うなナッシュ均衡はない。
- P1 が A,D のみを正の確率で行う (B,D のみ、C,D のみ、も同様) :
この時は P2 の最適反応は d または b である。
しかし P2 が b または d しか行わないのであれば、P1 の純戦略 A は最適反応にならないの
で、このようなナッシュ均衡はない。
- P1 が A,B,D の 3 つの純戦略だけを正の確率で行う (B,C,D のみ、A,C,D のみ、も同様) :
この時の P2 の最適反応はいろいろなケースがあるが、a は正の確率で行われることはない。
すると P1 の純戦略 A は最適反応にならないので、このようなナッシュ均衡はない。
- P1 が A,B,C の 3 つの純戦略だけを正の確率で行う :
この時も P2 の純戦略 a は最適反応の中に入らない。
したがって、P1 の純戦略 A は P2 の最適反応に対して最適反応にならないので、このよ
うなナッシュ均衡はない。

P2 についても同様な場合分けで同じ議論ができる。 □

2. (a) 解答例は以下。R',N' が逆でもよい。完全情報なので意思決定点と情報集合を区別せず描いて
ある。



(b) P2 の最適行動を考えると上の情報集合 (W を見た後) は R だけが最適。しかし下の情報集
合 (S を見た後) は R' も N' も共に最適なので、均衡になる可能性としては $s_2^* = (R, R')$ と
 $s_2^{**} = (R, N')$ がある。

s_2^* に対しても、 s_2^{**} に対しても P1 の最適戦略は W であるから、純戦略の範囲での後ろ向き
帰納法の解は 2 つあり、 (W, s_2^*) と (W, s_2^{**}) である。

((W, R) です、と書いたら不正解。これは「均衡経路」である。)

(c) (双) 行列表現は以下である。

P1 \ P2	R	N
W	5, 10	-5, 0
S	1, 0	0, 0

純戦略のナッシュ均衡は2つあって (W,R) と (S,N) である。

次に混合戦略の均衡を求める。

P2 の混合戦略を R をする確率 $q \in [0, 1]$ で表すと、

$$Eu_1(W, q) = 5q - 5(1 - q)$$

$$Eu_1(S, q) = q$$

より

$$Eu_1(W, q) \geq Eu_1(S, q) \iff 5q - 5(1 - q) \geq q \iff q \geq \frac{5}{9}$$

であるから P1 の最適反応は

$$BR_1(q) = \begin{cases} W & \text{if } q > \frac{5}{9} \\ \Delta(\{W, S\}) & \text{if } q = \frac{5}{9} \\ S & \text{if } q < \frac{5}{9} \end{cases}.$$

同様に、P1 の混合戦略を W をする確率 $p \in [0, 1]$ で表すと

$$Eu_2(p, R) = 10p$$

$$Eu_2(p, N) = 0$$

より P2 の最適反応は

$$BR_2(p) = \begin{cases} R & \text{if } p > 0 \\ \Delta(\{R, N\}) & \text{if } p = 0 \end{cases}.$$

したがって無数の混合戦略ナッシュ均衡があつて、P1 は純戦略 S, P2 は $q \in [0, \frac{5}{9}]$ の確率で R を、残りの確率で N を選ぶという混合戦略をする組み合わせである。

記号では $(0, q)$ such that $q \in [0, \frac{5}{9}]$ または、 $(S, qR + (1 - q)N)$ such that $q \in [0, \frac{5}{9}]$ のように書くと良い。